



Information Attendant / Ganymede with File Search

仮想ドライブ設定マニュアル

2018 年 09 月 25 日

Ver 1.15

FCS – Techno

お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

目次

改訂履歴	i
目次.....	ii
1. 初めに.....	3
1.1. 本書の目的と対象読者	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について.....	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境.....	3
2. Ganymede with File Search 仮想ドライブ稼働環境の設定.....	4
2.1. 環境設定の設定画面を起動.....	4
2.2. 仮想ドライブ設定	5
2.3. 編集画面	7
2.4. クライアントブラウザ上の色分け表示.....	8
2.5. 共有フォルダについて	9

1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対しての本製品の導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「**Windows Server 役割の概要**」をご理解されているユーザー様の設定支援を目的として記載しております。

- Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- Windows ネットワークコンピューティングに関してご理解されている。
- ネットワーク環境におけるリモートコンピュータへの接続環境の構成状況をご理解されている。
- Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている

1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数の増加によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

2. Ganymede with File Search 仮想ドライブ稼働環境の設定

Ganymede with File Search の仮想ドライブの稼働環境の設定を行います。尚、本システムで表現する仮想ドライブとは、通常のネットワークドライブとは異なる事に注意が必要です。

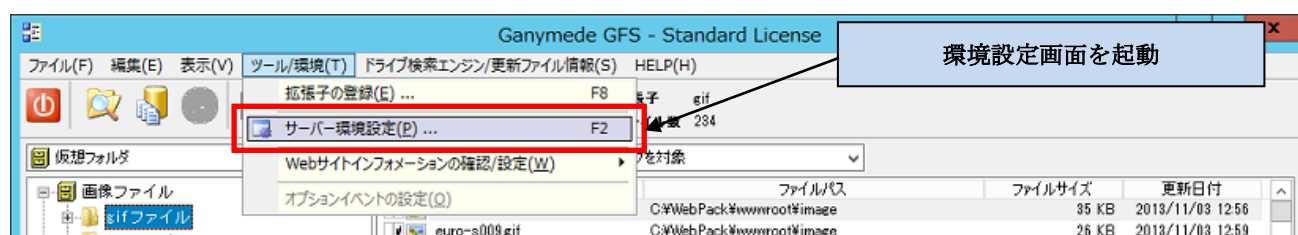
「Ganymede with File Search 独自の仮想ドライブ」となります。

本環境設定は、ファイル検索処理に影響しますので安易な変更は行わないで下さい。

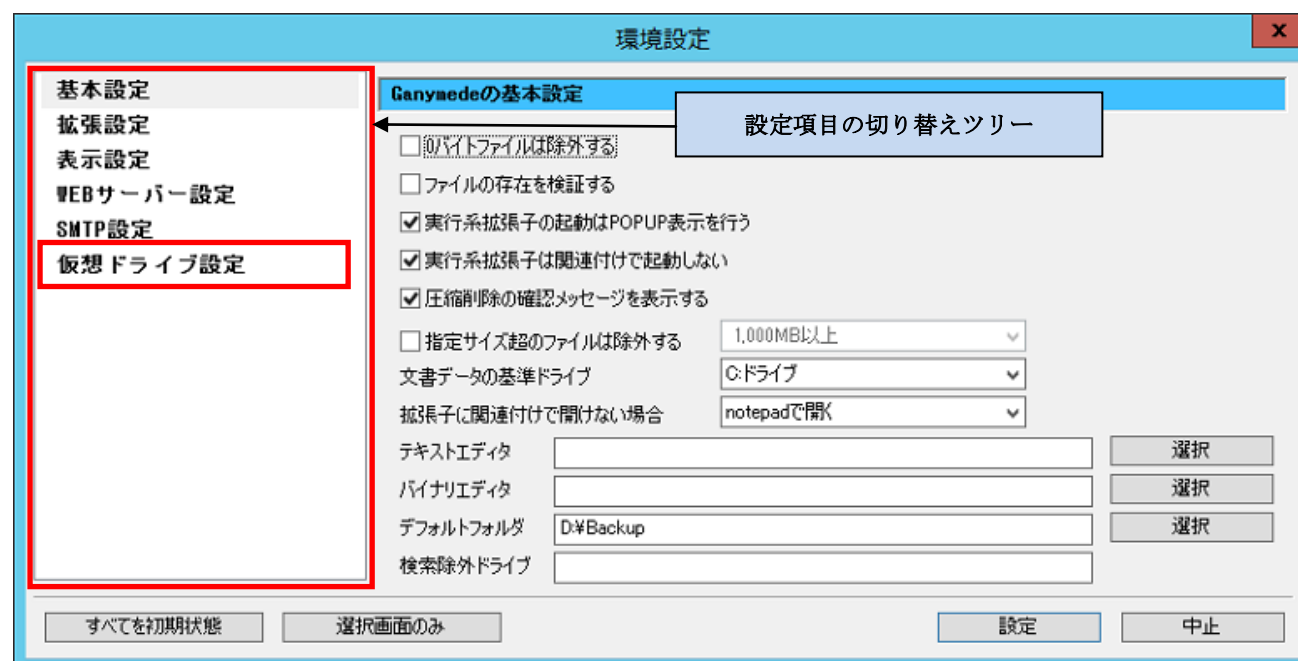
登録可能な仮想ドライブ数は、「最大で6ドライブ」です。

1 仮想ドライブで検索可能なファイル数は、「最大で 200,000」ファイルです。

2.1. 環境設定の設定画面を起動



ファイルメニュー内の「ツール／環境」「サーバー環境設定」を選択し、環境設定画面を起動して下さい。



設定項目の切り替えツリー内の「仮想ドライブ」項目を選択することで、設定画面に切り替えます。

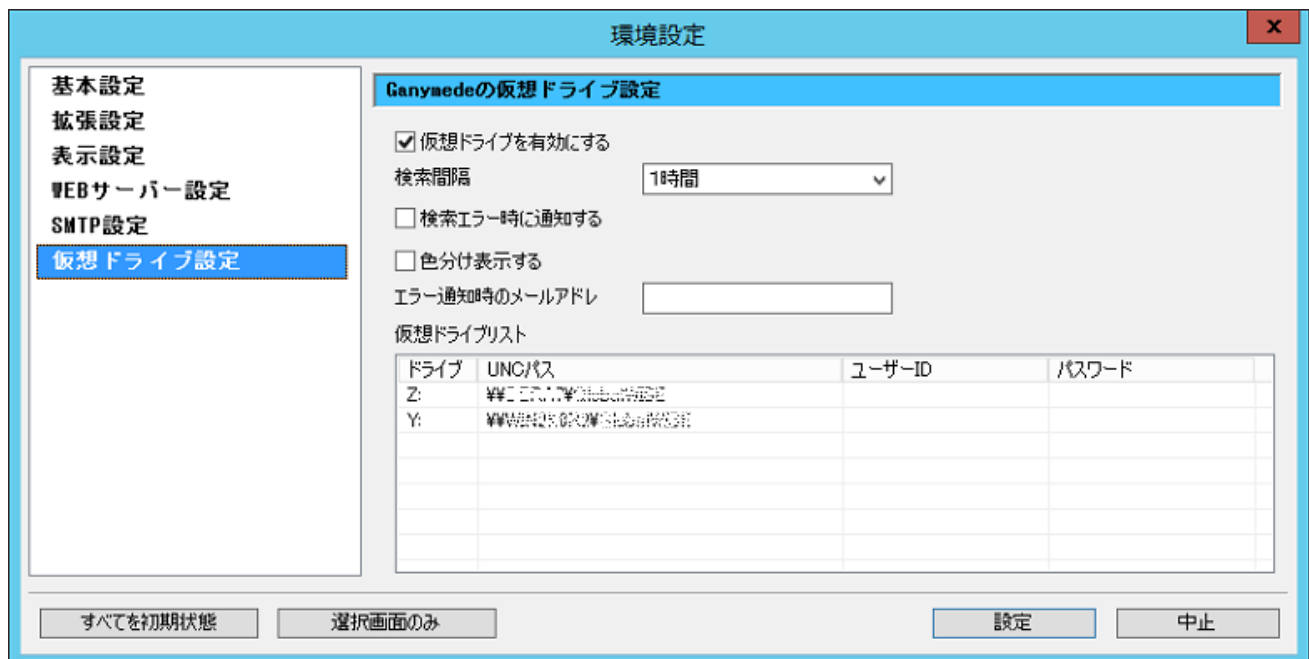
設定内容の反映を行う場合は、「設定」ボタンをクリックして下さい。

全ての設定内容を画面起動時の初期状態に戻す場合は、「すべて初期状態」ボタンを、選択画面内の項目を初期状態に戻す場合は、「選択画面のみ」ボタンをクリックして下さい。

変更内容はリアルタイムに反映します。

WEB サーバー設定以外は、ファイルサーバー内のローカル環境に対する設定です。WEB サイトの稼働制御に関する設定ではないことに注意して下さい。

2.2. 仮想ドライブ設定



環境設定

基本設定
拡張設定
表示設定
WEBサーバー設定
SMTP設定
仮想ドライブ設定

Ganymedeの仮想ドライブ設定

☒ 仮想ドライブを有効にする

検索間隔

☐ 検索エラー時に通知する

☐ 色分け表示する

エラー通知時のメールアドレス

仮想ドライブリスト

ドライブ	UNCパス	ユーザーID	パスワード
Z:	\\\\192.168.1.100\\share		
Y:	\\\\192.168.1.101\\share		

すべてを初期状態 選択画面のみ 設定 中止

【仮想ドライブを有効にする】

- ・「他のコンピュータの公開共有フォルダ」を検索対象に含める場合にチェックして下さい。
- ・ネットワークドライブとしてマウントされている状況でも、該当の共有フォルダの登録は必須です。
- ・OS システムが認識しているドライブは、ローカルドライブのみが検索の対象です。

【検索間隔】

- ・ファイル検索処理のインターバルを設定します。
- ・最小間隔で1時間、最大間隔で8時間になります。

【検索エラー時に通知する】

- ・ネットワーク障害等が発生し、正規の仮想ドライブと認識しているネットワークフォルダでの検索エラーが発生した場合にメール通知します。
- ・登録ミス、アクセス許可の未設定等で初期アクセス時に検索できない仮想ドライブは除きます。

【色分け表示する】

- ・クライアント側のブラウザ表示において、仮想ドライブ上に存在するファイルを識別する方法として、色分け表示を行う場合にチェックします。
- ・Ganymede with File Search 上の画面表示では常に色分け表示されます。

【エラー通知時のメールアドレス】

- ・検索エラーの通知を行うメールアドレスを入力します。
- ・本機能を活用する場合は、「SMTP 設定」の登録が必須となります。

【仮想ドライブリスト】

仮想ドライブリスト

ドライブ	UNCパス	ユーザーID	パスワード

- ・登録済みの仮想ドライブ情報を一覧表示します。
- ・登録可能な仮想ドライブ数は、最大で「**6 ドライブ**」となります。
- ・稼働ドライブの編集を行う場合は、リストビューウィンドウ内でマウス右クリックで編集用の POPUP メニューを表示して下さい。

【新規登録メニュー】

仮想ドライブリスト

ドライブ	UNCパス	ユーザーID	パスワード

仮想ドライブの新規登録

- ・表示された POPUP メニューの「仮想ドライブの新規登録」を選択して下さい。

【編集メニュー】

仮想ドライブリスト

ドライブ	UNCパス	ユーザーID	パスワード
Z:	*******		
Y:	*******		

仮想ドライブの新規登録

選択エントリを変更

選択エントリを削除

- ・表示された POPUP メニュー内から目的の項目を選択して下さい。

2.3. 編集画面

【ドライブ ID】

- ・「Z' ～ 'V'」の範囲で選択します。本範囲内は固定です。
- ・ドライブ ID の重複登録は行なえません。
- ・本ドライブ ID は、「Ganymede with File Search 公有のドライブ ID」です。
- ・標準のネットワークドライブとは関連が無い事に注意が必要です。
- ・ドライブ ID の変更を行なった場合、既存の検索情報は全て「初期化」します。

【キープアライブ】

- ・一定間隔で共有フォルダへのアクセスを行わせる場合に有効にします。
- ・ネットワークドライブ機器によっては、一定時間のアクセスは無い場合は接続を切断する機器が存在します。その様な機器に対する接続維持のための機能です。

【UNC パス情報】

- ・「¥¥コンピュータ名¥Share フォルダ名」の形式で登録して下さい。
- ・コンピュータ名のみの登録は無効です。
- ・共有フォルダ名の重複登録は行なえません。

【ユーザーID・パスワード】

- ・特定のユーザーID に対してのみ公開する共有フォルダの場合に指定して下さい。
- ・登録された「ユーザーID・パスワード」で接続を試みます。
- ・ユーザーID の指定無しで接続を行なった結果、検索エラーが発生した場合にユーザーID 指定での接続を試みます。
- ・ユーザーID に紐付いたパスワードを登録します。

【更新/中止】

- ・登録内容を反映させる場合は「更新」を、破棄する場合は「中止」を選択して下さい。
- ・本更新は仮登録です。設定内容を反映させる場合は、メイン画面の「設定」を実行して下さい。

2.4. クライアントブラウザ上の色分け表示

The screenshot shows the 'Ganymede with File Search' web application. The interface includes a search bar, a file list, and various controls. The file list has columns for No, Info, Down, View, Extension, FileName, FileSize, and FileDate. The 'Extension' column shows file extensions like '.txt', which are highlighted in red and bold. The 'FileName' column shows file names like 'inst_srv.txt', 'derahelp.txt', 'Readme.txt', 'License.txt', 'dd.txt', 'Verinfo.txt', 'update.txt', 'files_to_update.txt', and 'gdupflst.txt'. The 'FileSize' column shows file sizes like '0 KB', '1 KB', '2 KB', '3 KB', '13 KB', '26 KB', and '25 KB'. The 'FileDate' column shows file dates like '2015/11/26 09:50', '2015/11/26 09:48', '2015/11/03 14:21', '2015/10/21 10:56', '2015/10/21 10:50', '2015/06/26 09:31', '2015/04/27 17:02', '2015/03/11 14:13', and '2015/03/11 13:45'.

No	Info	Down	View	Extension	FileName	FileSize	FileDate
76				txt	inst_srv.txt	0 KB	2015/11/26 09:50
77				txt	inst_srv.txt	0 KB	2015/11/26 09:48
78				txt	derahelp.txt	1 KB	2015/11/03 14:21
79				txt	derahelp.txt	1 KB	2015/11/03 14:21
80				txt	Readme.txt	2 KB	2015/10/21 10:56
81				txt	Readme.txt	2 KB	2015/10/21 10:56
82				txt	License.txt	3 KB	2015/10/21 10:50
83				txt	License.txt	3 KB	2015/10/21 10:50
84				txt	dd.txt	2 KB	2015/06/26 09:31
85				txt	Readme.txt	13 KB	2015/06/18 17:17
86				txt	Verinfo.txt	1 KB	2015/04/27 17:02
87				txt	update.txt	1 KB	2015/03/11 14:13
88				txt	files_to_update.txt	26 KB	2015/03/11 14:13
89				txt	gdupflst.txt	25 KB	2015/03/11 13:46
90				txt	files_to_update.txt	3 KB	2015/03/11 13:45

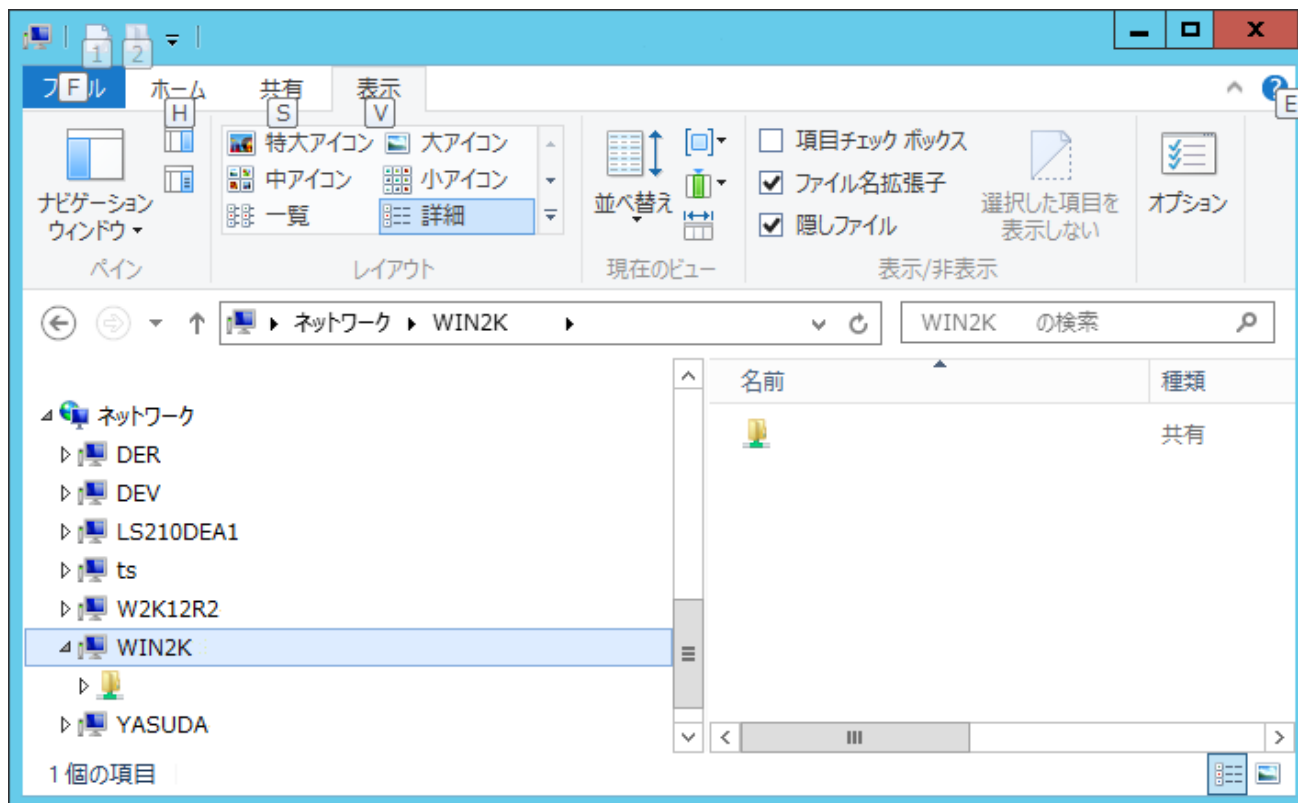
仮想ドライブ上のファイルを識別する設定が有効な場合、「Extension フィールド」の拡張子文字を

- ・ フォントサイズを 1pt 大きく表示
- ・ 太文字で表示
- ・ 斜体で表示

の形で強調して表示します。

強調表示されている場合は、仮想ドライブ上のファイルで有る事を示しています。

2.5. 共有フォルダについて



仮想ドライブとして登録可能な共有フォルダは、「Windows ネットワーク」として認識しているリモートコンピュータが対象となります。

また、該当のリモートコンピュータが、自身のローカルフォルダを共有フォルダとして公開している事が必要となります。本共有フォルダへのアクセスは、「¥¥コンピュータ名¥共有フォルダ名」の形式での直接アクセスとなります。

閲覧権限、及び読み取り権限の付与をお願いします。また、ファイルの保存等を行わせる場合は、書込み権限の付与もお願いします。